

自治医科大学附属病院で超音波内視鏡下組織細胞診をお受けになった方へ

適切な超音波内視鏡下組織細胞診を検討する目的で、自治医科大学附属病院で臨床研究を行っております。

【対象となる方】

平成17年1月1日から平成27年9月30日の間に自治医科大学附属病院にて膵胆道疾患、胃粘膜下腫瘍、または腹腔内リンパ節腫大のため超音波内視鏡下組織細胞診をお受けになった方。

【研究の意義】

我が国において超音波内視鏡下組織細胞診については、その効果や偶発症等、不明な点が多くあります。そのためデータを収集することにより、現状と問題点を明らかにできると考えられます。

【研究の目的】

超音波内視鏡下組織細胞診の安全性と有効性を評価します。

【研究の方法】

この研究は、厚生労働省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」を守り、倫理審査委員会の承認のうえ実施されます。これまでの診療でカルテに記録されている病歴、血液検査、画像検査、病理検査のデータを収集して行う研究です。そのため、特に患者さんに新たにご負担頂くことはありません。

この研究のためにご自分のデータを使用して欲しくない場合は主治医にお伝え頂くか、下記の研究事務局までご連絡ください。なお、連絡が届いた時点で、すでに研究成果が発表され修正不能である場合は研究成果を破棄出来ないことがあります。患者さんご本人の意思表示が困難な場合にはご家族からのご連絡も受付いたします。ご連絡を頂かなかつた場合、ご了承頂いたものとさせていただきます。

【個人情報の保護】

この研究に関わる成果は、他の関係する方々に漏えいすることのないよう、慎重に取り扱う必要があります。あなたの情報・データは、分析する前に氏名・住所・生年月日などの個人情報を削り、代わりに新しく符号をつけ、どなたのものか分からないようにした上で、消化器内科学部門において厳重に保管します。ただし、ご自分のデータを使用して欲しくない申し出が患者さんからあった場合は、この符号を元の氏名などに戻す操作を行います。資料はデータの信頼性を保証するために研究発表後5年間保存後、ファイルを消去した後にUSBメモリを機械的に粉砕する事で破棄します。

【研究結果の公表】

研究の成果は患者さんの氏名など個人情報明らかにならないようにした上で、学会発表や学術雑誌及びデータベース上で公表したいと思います。また御希望があれば研究データを統計データとしてまとめたものをこのホームページ上に開示致します。いずれの場合においても公表する結果は、統計的な処理を行ったものだけとし、被検者の個人情報は一切公表しません。

2015年 月 日

【問い合わせ先】

自治医科大学 消化器内科学部門

准教授：玉田喜一

住所：栃木県下野市薬師寺 3311-1

電話：0285-58-7348（内線：3548） FAX：0285-44-8297

Eメールでのお問い合わせ：tamadaki@jichi.ac.jp

「苦情がある場合は、自治医科大学研究支援課（電話 0285-58-7576）で受け付けます。」